

2023 年の自己点検自己評価の結果

| 評価項目 | 自己点検・自己評価結果 | |
|---------------|-------------|--|
| | 点数 | 評価の概要と今後の課題 |
| I 教育理念・目的 | 4.4 | <p>・教育理念、目的、目標は学生便覧に示しており、整合性があり問題はない。また、当校の特徴や独自性も示されている。しかし、「わからない」と答えているものもいることから周知、理解してもらう必要がある。</p> |
| II 教育目標 | 4.3 | |
| III 教育課程経営 | 3.8 | <p>・教育課程全体構造や科目などは便覧に示している。</p> <p>・教育活動を行う上での準備時間は規則上、問題ないが学生対応などの時間によって不足が生じている現状もある。また、評価結果など倫理的配慮を行いながら、さらに、安全教育にも配慮しながら教育活動を行っているが、それらを示す文書に不足があったりしているため、現状を確認しつつ、不足としている文書などを整えていく必要がある。</p> <p>・教員の背景などによって左右されないように、教育課程全体の進捗やつながりが具体的に見てわかるように見える化していく必要がある。</p> |
| IV 教授・学習・評価過程 | 3.8 | <p>・各教員が授業ごとに学生に講義概要を配付し授業目的・方法、評価などを明確に伝えている。また、授業ごとに形成評価を行ったり、毎年、年度末には全体的なカリキュラム評価を行い、今年度の評価、次年度にむけてシラバス等に反映させている。</p> <p>・評価方法として「多様な評価方法」についてわからないと答えているもの、当てはまらなと考えているものの割合が多かった。評価方法については研修の受講を勧め、授業研究など今後、計画的に行っていく必要がある</p> |
| V 経営・管理過程 | 3.1 | <p>・この項目は全体的に低い傾向がある。当校は設置主体が医仁会に位置付けられるため財政基盤や計画などについてはわからない、当てはまらと答えているものが多いからと思われる。しかし、学校経営していくうえでは教職員が経営的視点から財政の概要など理解してもらうことも必要であるとする。</p> <p>・自己点検・自己評価は今年度より継続的に取り組んで行く予定。</p> |
| VI 入学 | 3.4 | <p>・各長期休暇前後に、各学生の成績や欠課状況をもとに面談を行い、学生に合わせた個別な指導を行っている。しかし、それを各入試別に分析しているわけではない。これらを分析することで次年度の入学の状況や学生指導に活かすことが可能と考えられるため次年度以降の課題とする。</p> <p>・当校の入試の基準の中ではアドミッションポリシーはあるが文章に明確化していないため明確化し周知していく。</p> <p>・入学生確保の活動が不十分であるため広報委員などを立ち上げ組織的に活動していく。</p> |

| 評価項目 | 自己点検・自己評価結果 | |
|--------------|-------------|---|
| | 点数 | 評価の概要と今後の課題 |
| VII 卒業・就職・進学 | 2.9 | ・卒業時の自己評価は、教育目標に即して、卒業生に行っているが卒業後の追跡は1度行っただけである。当校は附属看護学校であり、卒業後、学生の多くは医仁会に就職をする。そのため、情報交換やその後の追跡をしやすい環境にある。当校の教育理念や目的・目標との整合性を明確にするためにも調査ができる体制を整えていくことが必要である。 |
| VIII 地域社会 | 2.2 | ・全体的に低い傾向にある。ボランティアなどの地域社会への貢献はコロナ禍前までは学生を募り行っていたが、このコロナ禍で、ここ数年はできていない。今後、ボランティア活動などがあれば積極的にい地域貢献していきたい。 |
| IX 研究 | 1.1 | ・この項目に関しては一番低い。研究的な素地が不十分であること、時間的余裕がないことが大きな要因であると考えられるため、新カリ運用が軌道にのっていきタイミングを進めていくことが必要と思われる。 |

